

学校関係者評価委員会

日本こども福祉専門学校 学校関係者評価委員会は、令和4年度学校自己評価の結果に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

[学校関係者評価の基本方針について](#)

1. 開催日時 令和5年6月13日(火)13:00~14:00

2. 場 所 日本こども福祉専門学校 601教室

3. 出席者

役職	所属	氏名
委員長	日本こども福祉専門学校 学校長	井口 明彦
外部評価委員	ニフィスこども園 主任	高崎 恭子 様
	株式会社星光堂薬局 販売教育部 部長	佐藤 学 様
	株式会社ココカラファイン(くすり総合学科卒業生)	佐藤 安珠美 様
内部評価委員	日本こども福祉専門学校 こども保育学科 学科長	金子 亜美
	日本こども福祉専門学校 くすり総合学科 学科長	佐々木 春奈
	日本こども福祉専門学校 事務局長	松尾 章弘
書記	日本こども福祉専門学校 教員	高橋 萌香
		菅 瑞季

4. 次第

プログラム	担当
(1)委員長挨拶	井口学校長
(2)出席者紹介	松尾事務局長
(3)学校関係者評価 趣旨説明	松尾事務局長
(4) 自己評価結果 に関する報告及び意見交換 (保育、くすりに分かれて)	【保 育】金子-高崎様(高橋萌) 【くすり】佐々木-佐藤学様,佐藤安珠美様(菅)
(5)振返り	金子、佐々木

1. 学校の教育目標

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知がなされているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・学校の理念・目的・育成人材像の議論が不足している。
- ・職業現場との情報交換の機会が確保されている。また、教育の動向についても早めにキャッチし5年後を見据えた対応ができています。構想の明文化ができていない。
- ・分野の特性上取得できる資格や、就職先が明確になっており、学生・保護者に理解されています。
- ・令和3年度くすり総合学科で、職業実践専門課程の認定を受けた。

(3) 今後の課題等

- ・特になし。

【学校関係者評価】

職員の能力開発について、保育の評価が3なのに対し、くすりの評価が4なのはなぜか。

具体的にはどんなことをやっているのか。

→教育に関する研修をグループで行っているため

→クラス運営、教育運営の質を上げることができるような研修を行っているため

2. 学校運営

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4

2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・運営方針の学校全体と各学科の連動がない。ただし、連動することが良いとは限らない。
- ・会議フォーマットの作成などをしつつ、柔軟な対応ができています。

(3)今後の課題等

- ・目的等に沿った運営方針の策定について、目的の解釈や運営方針が現場でどのように作用するか議論が必要。

【学校関係者評価】

- ・特になし。

3. 教育活動(保育)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4

5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・業界関係者を非常勤講師として迎え、関連分野の先端的な知識・技能等を身に付けることができている。また、各教員がそれぞれの専門分野の研修に参加している。

(3)今後の課題等

- ・職員の資質向上のための取組として、今後も積極的に研修への参加を促すとともに、学科・学校として環境(予算、授業調整など)を整えていくことも必要である。

【学校関係者評価】

教員の指導力の機会を作っていくことが課題。こども家庭庁の新設など、社会も変化に対応し、教員も新しい情報をキャッチしていかなければならない。

コロナも落ち着き研修会が増えてきたが、養成校としての研修というよりは、オンラインの研修会、保育士の研修会(保育学会など)に個人的に参加しているのが現状。

評価が3なのはなぜか

→学科長と各教員で授業後、フィードバックを行っているが、くすり全体では行っていないため、今後は各教員＋全体で行ってもいいのではないかと思います、この評価に至った。

学生からの評価(アンケート)はないのか

→1on1で各学生から「授業はどうか」などを聞いている

→アンケートを取ることも考えたが、教員のモチベーションにも関わってくるかもしれないため、取り入れてはいない

→ドラッグトップスでは、集合研修の時に受講生から講師にフィードバックをもらっており、評価が良くないと講師を変えたり、いい評価をもらった講師はモチベーションが上がった。

→評価が教員のモチベーションが上がるものであれば取り入れてもいいのではないかと。

3. 教育活動(くすり)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4

13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・適切に行われている。

(3)今後の課題等

- ・授業評価の実施・評価について学科全体で共有できるようにする。

【学校関係者評価】

特になし。

4. 学修成果(保育)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・学生・保護者との面談等を積極的に行うなど、可能な限りの支援体制をとって退学者の低減に努めているが、退学率は0%ではない。
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価について、動向を把握している卒業生と把握していない卒業生がいる。

(3)今後の課題等

- ・相談体制・支援体制を充実させ、退学率が0%になるように対応する必要がある。
- ・卒業生の就労状況(活躍や継続)を把握・調査し、卒業生への支援体制を充実させる。

【学校関係者評価】

ずっと課題なのは退学率は減少しているが、完全には0にはできない。

入学後、トラウマの再発、保育士になることへの意欲低下、授業・実習を通して分野に合わないと感じて退学する学生が多い。

入学してから勉強していくなかで、職業イメージのずれが起きていた。ステップアップしていくような授業のカリキュラムに変更した(1年生前期に演習を多くし、難しい科目は後にする)。1年生を乗り越えると退学率は下がる。

くすりで退学者3名は多いのか。

→多いわけではないが、1名体調不良、2名が成績不良で留年してしまった

→成績不良で退学した学生に関しては教員の頑張りどころではあった

→授業の見直し、1on1で学生のモチベーション(プライベートから勉強へシフトを向けること)をいかに上げられるのかが課題。

入ってからの印象(勉強の大変さ)が違うというのもあるのではないか

→厳しさを和らげるより、難しさを維持したままモチベーションを上げていけるようにする。

4. 学修成果(くすり)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・3名の退学者が発生した。

(3) 今後の課題等

・成績不良のための退学が減らせるよう、授業の見直しと1on1での学生の現状把握を行う。

【学校関係者評価】

特になし。

5. 学生支援(保育)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・卒業生への支援体制・再教育プログラム等は必要に応じて個別に行われている。

(3) 今後の課題等

・学科・学校で体制づくりをし、充実させていく必要がある。

【学校関係者評価】

卒業生の支援があまりできていない。現場の悩みなど、卒業生同士でつながる場所があるといい。現場ではなかなか相談できないところもある。学生の時に習った先生たちに聞きたいこともあると思う。

学校に卒業生が来ること、実習巡回で会うことはあるが、関東に行った学生には連絡をなかなかとれない。卒業生にハガキ送るか考えたこともあるが、送り先・送る範囲に懸念事項あり現 実化していない。卒業生が子どもと一緒に集まる機会があると良い。卒業生がもっと学校に来れる機会を作りたい。

評価表をお渡しすれば卒業生をドラッグトップスで評価してくれる

高卒で入社した社員は、その高校から3年間評価シートの依頼がくる
 卒業後の再教育プログラムは何をしているのか
 →学科ではやっていないが、入社後、各企業でやっているためこの評価に至った。
 →企業に評価シートを依頼すれば、「学校でこういったことをやってもらいたい」など評価してくれる

5. 学生支援(くすり)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・関連分野における業界内での教育プログラムが確立されているため、連携は行っていない。

(3) 今後の課題等

・業界内での教育プログラム以外に学校での再教育プログラムが必要か検討したい。

【学校関係者評価】 特になし。

6. 教育環境

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

適切に行なっている。

(3) 今後の課題等

特になし。

【学校関係者評価】

特になし。

7. 学生の受入れ・募集

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行なわれているか	4
2	学生募集活動は適正に行われているか	3
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行われている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

【学校関係者評価】

個別相談の時間を増やしてみるなど、新しい方向性が必要。

学生納付金は評価が4でもいいのではないか

→値上げ等があったりしたが、金額を変更せず集金していたため検討したほうがよかったのではないかと思います、この評価に至った。

8. 財務

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行っている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

【学校関係者評価】

特になし。

9. 法令等の遵守

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4

4	自己評価結果を公開しているか	4
---	----------------	---

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状
適切に行っている。

(3)今後の課題等
特になし。

【学校関係者評価】
特になし。

10. 社会貢献・地域貢献(保育)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状
適切に行われている。

(3)今後の課題等
特になし。

【学校関係者評価】
特になし。

10. 社会貢献・地域貢献(くすり)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

適切に行われている。

(3) 今後の課題等

特になし。

【学校関係者評価】

特になし。

議事録(各学科取りまとめ)

[こども保育学科](#) [くすり総合学科](#)